

市民の皆さん向け、広告バナー・販促POP デザイン講座、色彩講座を実施します！

私たちは普段、一般社団法人ロンドに所属し、旧上浜小学校を活用したインキュベーション施設「わくばにかほ」の運営や、起業創業支援の事業を行っています。具体的業務としては、デザイン制作を中心としたマーケティングになります。

昨年度は個人の活動として、市役所の生涯学習課、総合政策課より依頼をいただき、2023年8月に市民の皆さん向けの講座を全3回、10月に市職員の皆さん向けの講座を全2回実施しました。

「チラシ」を具体的な事例とした「デザインの基礎」を学習できる講座として、講師を務めました。全部で60人近い方々に参加いただき、8割以上の皆さんから好評の声をいただくことができました。参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました！



そして、今年度も生涯学習課より依頼をいただき、市民の皆さん向けの講座を2種類開催することになりました。

講座名	開催日時	定員	受講料
① 1つ目は、6月22日(土)に商品の販売・集客で必須となる「広告バナー」、「販促POP」を制作するための考え方や基礎知識を学べる講座を開催します。	6/22(土)	10人	100円
② 2つ目は、6月29日(土)に色のもたらす心理効果と、それを生活やデザインにおいて活用できる知識を学べる講座を開催します。	6/29(土)	10人	100円

若山 慧登
Keito Wakayama
勤務先：わくばにかほ
出身地：東京都

福武 代里子
Yoriko Fukutake
勤務先：わくばにかほ
出身地：岡山県

2つ目は、翌週6月29日(土)に色のもたらす心理効果と、それを生活やデザインにおいて活用できる知識を学べる講座を開催します。どちらの講座も基礎知識から学べる内容になっています。ぜひ皆さんの参加を待っています！

ロンドで活動する仲間たち

お問い合わせはこちら
info@rondo-nikaho.com
わくばにかほ（旧上浜小学校）
〒018-0136 象潟町大砂川釜道1-1

ロンドWeb
わくばにかほ

ロンドではこんな支援を行なっています！

01 起業創業プログラム	02 地域プレイヤーの育成・発掘	03 新規事業の開発・立ち上げ	04 地域内外の交流イベント
05 写真撮影	06 動画制作・編集	07 ロゴ・名刺デザイン制作	08 WebサイトLP制作

お力になれることがあれば、ご相談ください！

能登半島地震を振り返って

能登半島地震

1月1日、16時10分に発生した能登半島沖のM7・6の大地震は、あらためて私たちに地震と津波の恐ろしさを強烈に知らしめました。3月末時点で、人的被害は死者数244人・負傷者数1、300人、家屋の被害は全壊から一部破損まで約8万4千棟となっています。また、避難者数も8、200人を超えていて、いまだ多くの人々が普通の暮らしを取り戻せずにいます。あらためて亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞いを申し上げさせていただきます。

地震から翌日までの市の動き

地震発生から2分後に気象庁から、高さ1m予想の津波注意報が市沿岸に発表されました。これを受けて、「津波注意報が発表されたこと」、「海岸から離れること」が防災行政無線にて自動放送され、あわせて防災あんしんメールが配信されました。

市は、地震発生直後からマニュアルに基づきさまざまな対応を始めました。まずは災害警戒部を設置し、職員に第1動員の緊急参集をかけました。次に、避難指示を2度にわたり防災行政無線で放送するとともに、仁賀保・金浦・象潟の3公民館に避難所を開設し、以後、市内の状況を確認しながら情報収集に務めました。

3公民館避難所には、延べ209人の人々が避難しました。翌朝7時に全ての

人が帰宅したのを受けて、午前9時に避難指示を解除、午前10時の津波注意報の解除をもって避難所を閉鎖し、あわせて災害警戒部を廃止しました。

津波注意報と避難指示

市のマニュアルでは、津波注意報の発表と同時に避難指示を出すことになっています。津波注意報は、気象庁が発表する3つの津波の種類のうち、いちばんレベルの低いものであり、20cmから1mの津波が起る可能性を示したものです。

市は、このマニュアルに基づいて避難指示を出しました。そして、多くの人が「ためらうことなく」近くの避難場所や山の方へ避難しました。このことは、とても大切なことだったと思っています。

しかしながら、避難方法や避難プロセスにいくつかの問題があること、特に市のマニュアルに多くの課題や盲点があることが明らかになりました。なかでも、津波注意報と避難指示のミスマッチがさまざまな問題を引き起こしたことがわかりました。今、市は課題の洗い出しを行い、マニュアルなどの見直しを急ピッチで進めています。

避難指示の可否

あらためて「津波注意報で避難指示を出すべきだったのか」について考えてみると、私は「正解だった」と思っています。ただ、整理しなければならぬ点は、避難指示の範囲が津波注意報のレベルに合っていないかったということです。つまり、今のマニュアルには今回の

ように避難指示が被害想定範囲外にまで出されてしまうなど、避難指示のあとの避難のあり方も含めて未整理の部分があつたことがわかりました。この点についても早速見直しを行い、津波警戒レベルに見合った範囲に避難指示が出せるよう再設定を行いました。

地震と津波

このコラムを書いている最中の4月3日に台湾で大地震が発生しました。この地震の直後、あまり揺れを感じなかった沖縄諸島に津波警報が出されました。かつて昭和35年に発生したチリ大地震による大津波が日本を襲い、139人の方が亡くなったこともあり、地震の発生場所と津波被害の場所は必ずしも一致しないことをあらためて思い知ることになりました。



にかほ市長
市川雄次

